

令和元年度  
長岡市社会資本総合整備計画等  
事業評価監視委員会

計 画 名 : 社会資本総合整備計画

「長岡市ICアクセス道路整備」

分 野 : 道路

交付金名 : 社会資本整備総合交付金

評価種別 : 事後評価

令和2年2月19日



# 社会資本総合整備計画の 概要について

---

## 上位計画の概要

# 本整備計画の位置づけ

## 長岡市総合計画

市政運営の  
基本方針を定めるもの

都市計画マスタープランは  
「土木・都市整備分野」を受け持つプラン

## 都市計画マスタープラン

市総合計画に基づき、各政策分野の基本  
方針を定めるもの

地域公共交通網形成計画  
立地適正化計画  
橋りょう長寿命化計画  
トンネル長寿命化計画  
長岡都市圏交通円滑化総合計画  
地域防災計画  
交通安全計画 等

## 基本計画

個別分野の基本計画で、市総合計画や  
マスタープランに即して定められるもの  
(道路・交通・公園・住宅・下水道など)

## 社会資本総合整備計画

# 上位計画：長岡市総合計画

## 策定の目的

市政の基本方針及び各政策分野の施策方針を総合的に定めること

## 第3章：生活・都市基盤

都市の活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みよいまちの実現

## 施策の柱

1. 市民が安全に安心して暮らせるまち
2. **活力を創出する交流基盤の充実したまち**
3. 誰にでも優しく快適な住環境が整備されたまち
4. 個性と魅力ある都市空間を持つまち

## 課題

- **高速交通体系と有機的に結ばれた広域幹線道路網を構築する必要がある**
- **高次・救急医療施設や工業団地、観光施設へのアクセスの確保や利便性の向上など、各地域の生活を支える幹線道路の整備が必要である**

## 基本施策の方向性

- **既存の高速交通体系と連結するラダー型広域幹線道路網の整備を進める**
- **各地域や隣接市町村の中心部から、都心地区又は高速道路のインターチェンジに30分以内にアクセス可能な幹線道路の整備を進める**

## 施策の内容

- ラダー型広域幹線道路網の整備
- **主要幹線道路の整備**
  - ・ **長岡北SICの整備の推進**
- 道路整備計画の再検討

# 上位計画：長岡市総合計画

## ラダー型広域幹線道路網



### ◆ラダー型広域幹線道路網

信濃川右岸の長岡東バイパスと左岸バイパス（信濃川流域広域幹線道路）を南北方向の軸とし、信濃川を渡る東西方向の幹線道路と連結することにより形成されるラダー（はしご）型の道路網

### ○期待される効果

- ・東西市街地、南北地域間の交流連携強化
- ・交通の分散化による渋滞緩和
- ・災害時の代替路（リダンダンシー）の確保

※長岡市総合計画 後期基本計画より一部抜粋

# 上位計画：都市計画マスタープラン

## 策定の目的

市町村合併に伴う行政区域の広域化と、都市を取り巻くさまざまな社会経済情勢の変化に対応した都市づくりの方向性を示す

## 整備方針

### 【道路網の整備方針】

- 広域的な都市間の交流・連携の促進に向けて、高速道路の積極的な活用とともに、ラダー型広域幹線道路網の整備に取り組めます。
- 円滑で安全・安心な交通環境を形成するため、都市内幹線道路網の整備をはじめ、歩行者の安全性に配慮した道路空間づくりに取り組めます。

### 【公共交通網の整備方針】

- 「コンパクトなまちづくり」を推進し、高齢社会への対応と環境負荷の低減を図るため、過度な自家用車の利用から公共交通への利用転換を促進します。

## 主な取り組み（道路・交通体系）

### 【道路網の整備方針】

- 広域的な交流・連携を促進する道路網の整備に取り組めます。
  - 高速道路の積極的な活用
    - ・ 新たなスマートICの設置の検討
    - ・ ICに接続する幹線道路の整備
  - ラダー型広域幹線道路網の整備
  - 主要幹線道路（国道や県道など、地域間を結ぶ道路）の整備
  - 道の駅の整備

### 【観光交流都市づくりの整備方針】

- 観光交流を支える道路・交通環境の整備・充実を図ります。
  - マイカー利用者の受け入れ体制の強化
    - ・ ICに接続する幹線道路の整備を推進
  - 公共交通による利便性の確保
  - 観光交流を支える都市基盤の整備

※都市計画マスタープランより一部抜粋

# 社会資本総合整備計画の 概要について

---

## 本整備計画の概要

# 長岡北スマートICの概要

## 概 要

- 開通日時：平成29年3月25日(土) 午後2時  
位 置：北陸自動車道長岡JCT～中之島見附IC間  
接続形式：本線直結型（一旦停止）  
利用形態：上下線ともに乗り降り可能  
利用時間：24時間  
対象車両：ETC搭載の全車種（車長制限なし）





# 本整備計画の概要

## 計画の名称

長岡市ICアクセス道路整備

## 計画期間

平成25年度～平成29年度（5年間）

## 計画の目標

長岡北スマートICの整備に合わせたICアクセス道路等の整備を実施することによる利便性の向上、さらには周辺道路の交通渋滞の緩和や安全性を確保し、魅力的なまちの形成を行う。

## 計画の成果目標

	項目	当初現況値（H23）	目標値（H29末）
1	長岡北スマートIC、長岡南越路SIC、長岡IC、中之島見附IC、西山ICへの15分圏域人口	197千人	239千人
2	長岡北スマートICにおける1日当たり平均利用台数	なし	2,300台/日
3	長岡市寺泊、和島、与板、三島地域における年間観光入込客数	3,240千人/年	3,850千人/年

# 本整備計画の概要

## 評価指標 1

- 長岡北スマートIC、長岡南越路SIC、長岡IC、中之島見附IC、西山ICへの15分圏域人口

## 目標値設定の考え方

- 現況値(H23)時点で長岡北スマートICが供用された場合の15分圏域人口を試算し、その人口を目標値とした。

【現況値】

197千人



【目標値】

239千人

## 指標の算出方法

- 対象道路網は、高速道路、国道、県道、市道とする。
- 旅行速度は、平成17年度道路交通センサスにおける混雑時旅行速度、市道は一律30km/hとして、15分圏域を算定。
- 人口は、国勢調査（H17）の結果を用いるものとする。

# 本整備計画の概要

## 評価指標 2

○長岡北スマートICにおける1日当たり平均利用台数

## 目標値設定の考え方

○H42将来交通量推計における将来交通量配分結果を基に、長岡北スマートICの交通需要を算定し、この結果を用いて計画交通量（目標値）を算出。

【目標値の算出方法】

$$\begin{array}{rcl} \text{計画交通量(目標値)} & = & \text{H42将来交通量} \times \text{ETC利用率} \\ 2,300\text{台/日} & & 2,550\text{台/日} \quad 90\% \end{array}$$

## 指標の算出方法

○長岡北スマートIC利用台数の実測値（東日本高速道路株式会社より提供）で把握した。

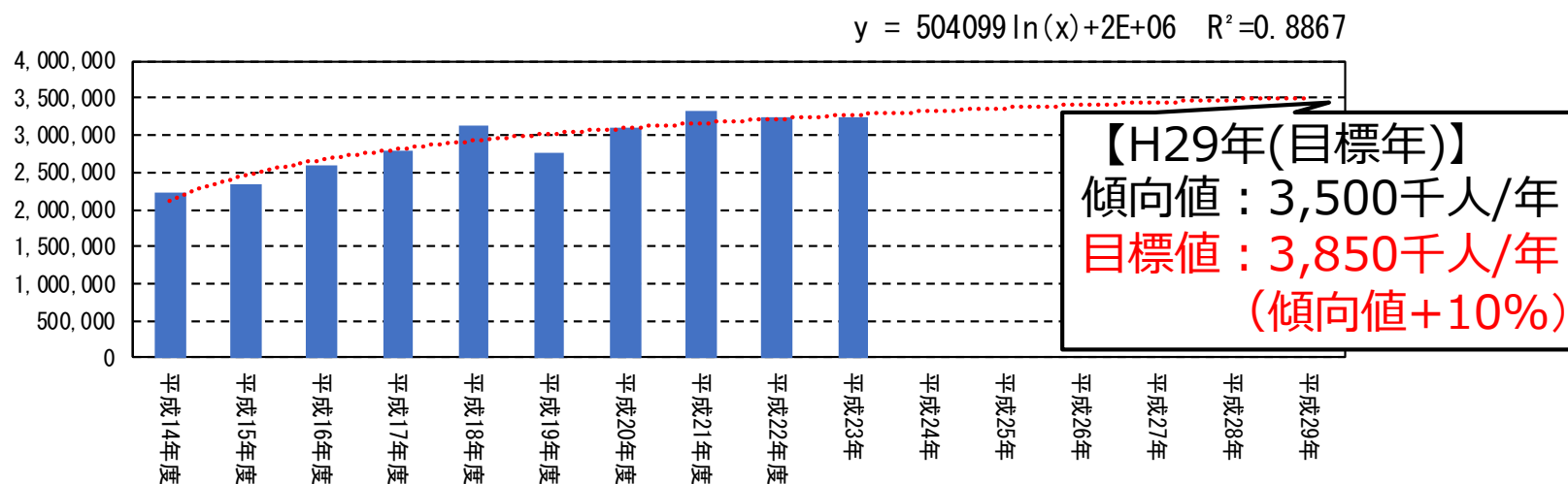
# 本整備計画の概要

## 評価指標 3

○長岡市寺泊、和島、与板、三島地域における年間観光入込客数

## 目標値設定の考え方

○平成14年～平成23年までの観光入込客数実績値から傾向値を推計し、その値+10%の観光入込客数を目標値とした。

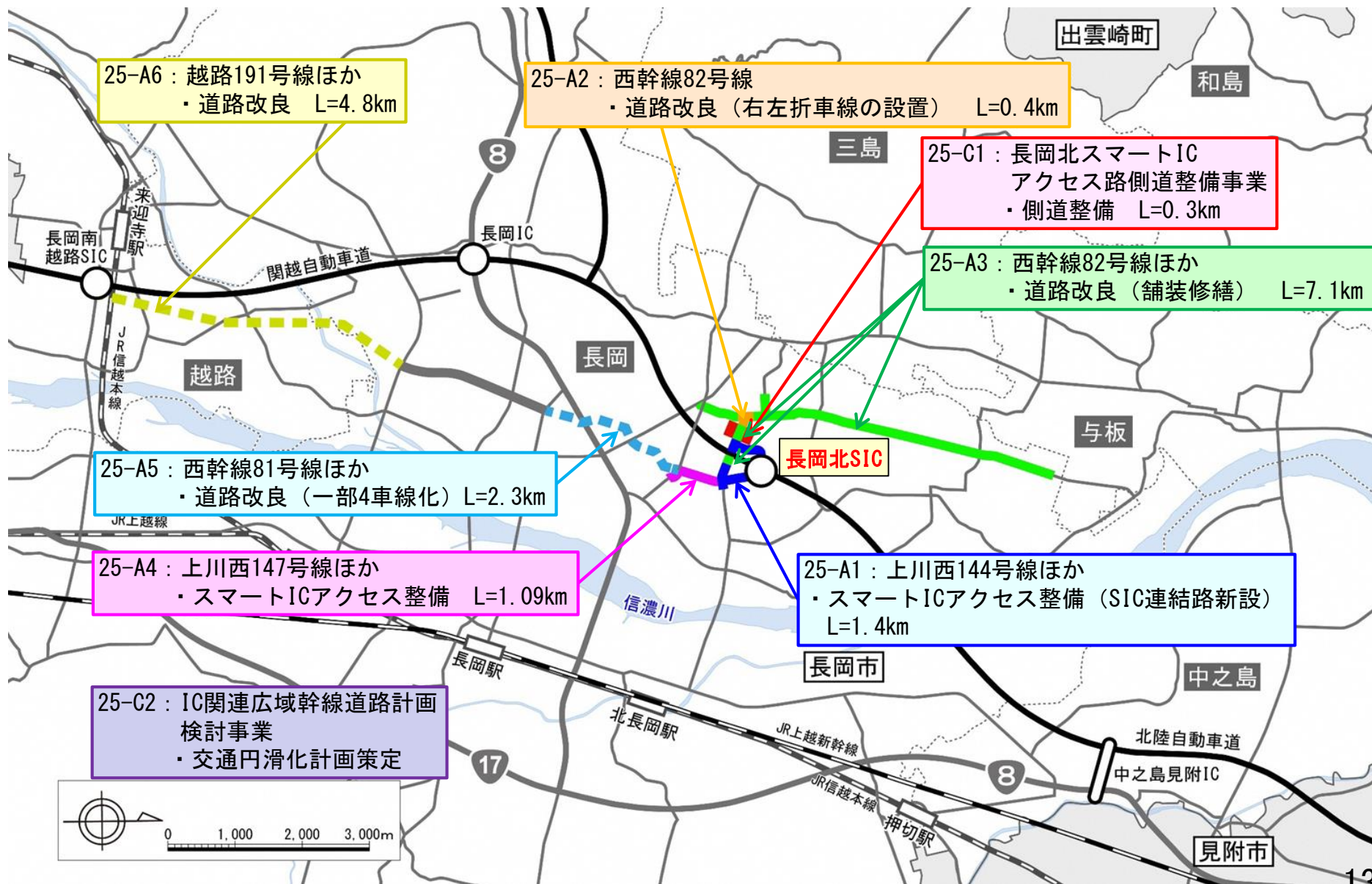


## 指標の算出方法

※H22年より集計方法が年度から暦年へ変更

○平成29年の観光入込客数実績値を調査し、把握した。

# 事業の内容



# 事業の内容

	番号	要素事業名	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）
				H25	H26	H27	H28	H29	
基幹事業	25-A1	(他)上川西144号線ほか	スマートICアクセス道路整備 L=1.4km				完了		1,645
	25-A2	(他)西幹線82号線	道路改良 L=0.4km				完了		125
	25-A3	(他)西幹線82号線ほか	道路改良 L=7.1km					完了	394
	25-A4	(他)上川西147号線ほか	スマートICアクセス道路整備 L=1.09km					完了	714
	25-A5	(1)西幹線81号線ほか	道路改良 L=2.3km					継続	876
	25-A6	(他)越路191号線ほか	道路改良 L=4.8km					継続	189
効果促進事業	25-C1	長岡北スマートIC アクセス路側道整備事業	側道整備 L=0.3km			完了			55
	25-C2	IC関連広域幹線 道路計画検討事業	交通円滑化計画策定 N=1式		完了				23
年度別全体事業費			計	212	757	643	1,139	1,271	4,022

※H28年度は補正予算も含んでいる

※端数処理の関係で合計値が一致しない場合がある

# 事業の内容：基幹事業

## 25-A1 (他)上川西144号線ほか

**概要**：長岡北スマートICと長岡都市圏の広域幹線道路網を連結する一次アクセス道路であり、交通円滑化や地域間の連結強化、救急医療搬送の効率化、観光や商工業の振興に寄与する交通拠点とするために整備した。

**対策事業の内容**：スマートICアクセス整備（L=1.4km W=7.5(6.0)m）

**工期**：H25～H28

長岡北SIC連結路新設

長岡北SIC

北陸自動車道

長岡北SIC連結路新設

増加する車両に対応するための道路改良

多用途駐車場整備



# 事業の内容：基幹事業

## 25-A2 (他)西幹線82号線、25-A3 (他)西幹線82号線ほか

**概要**：本路線と長岡北スマートIC連結路である交差点部は、右左折車線が無く、供用開始後の交通量増加により、交通渋滞などによる交通環境の悪化が懸念されることから、右左折車線を設置した。また、全体的に老朽化が激しく、交通量の増加も見込まれることから、舗装改良を実施した。

**対策事業の内容**：25-A2：道路改良（L=0.4km W=11.0(9.5)m）、  
25-A3：道路改良（L=7.1km W=8.6(7.7)m）

**工期**：25-A2：H25～H28、25-A3：H25～H29





# 事業の内容：基幹事業

## 25-A4 (他)上川西147号線ほか

**概要**：当整備区間は、フェニックス大橋と同時供用した左岸バイパス事業区間の北側延伸であり、長岡北スマートICからの1次アクセス道路の一部とし、都心地区などへの円滑なアクセスを確保するため整備した。

**対策事業の内容**：スマートICアクセス整備（L=1.09km W=12.0(6.5)m）

**工期**：H25～H29

【着手前】



【着手後】



# 事業の内容：効果促進事業

## 25-C1長岡北スマートICアクセス路側道整備事業

**概要**：農道機能としての側道を整備することにより、農耕者と一般車両の交通を分離し、安全な交通空間を確保するため、整備した。

**対策事業の内容**：側道整備（L=0.3km：W=5.0m×2車線）

**工期**：H25～H27

【着手前】



【着手後】



# 評価結果の内容について

---

成果の達成度

# 成果の達成度

## ■計画の成果目標

項目		当初現況値 (H23)	目標値 (H29末)	評価値 (H29末)	目標 達成度
1	長岡北スマートIC、長岡南越路SIC、 長岡IC、中之島見附IC、西山IC への15分圏域人口	197千人	239千人	<b>239千人</b>	○
2	長岡北スマートICにおける 1日当たり平均利用台数	なし	2,300台/日	<b>2,770台/日</b>	○
3	長岡市寺泊、和島、与板、三島地 域における年間観光入込客数	3,240千人/年	3,850千人/年	<b>3,027千人/年</b>	△

目標達成度の凡例：○ 評価値が目標値を上回った場合

△ 目標達成はしていないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× 目標値に達成しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

# 成果の達成度

指標 1 長岡北スマートIC、長岡南越路SIC、長岡IC、中之島見附IC、西山ICへの15分圏域人口

達成度○

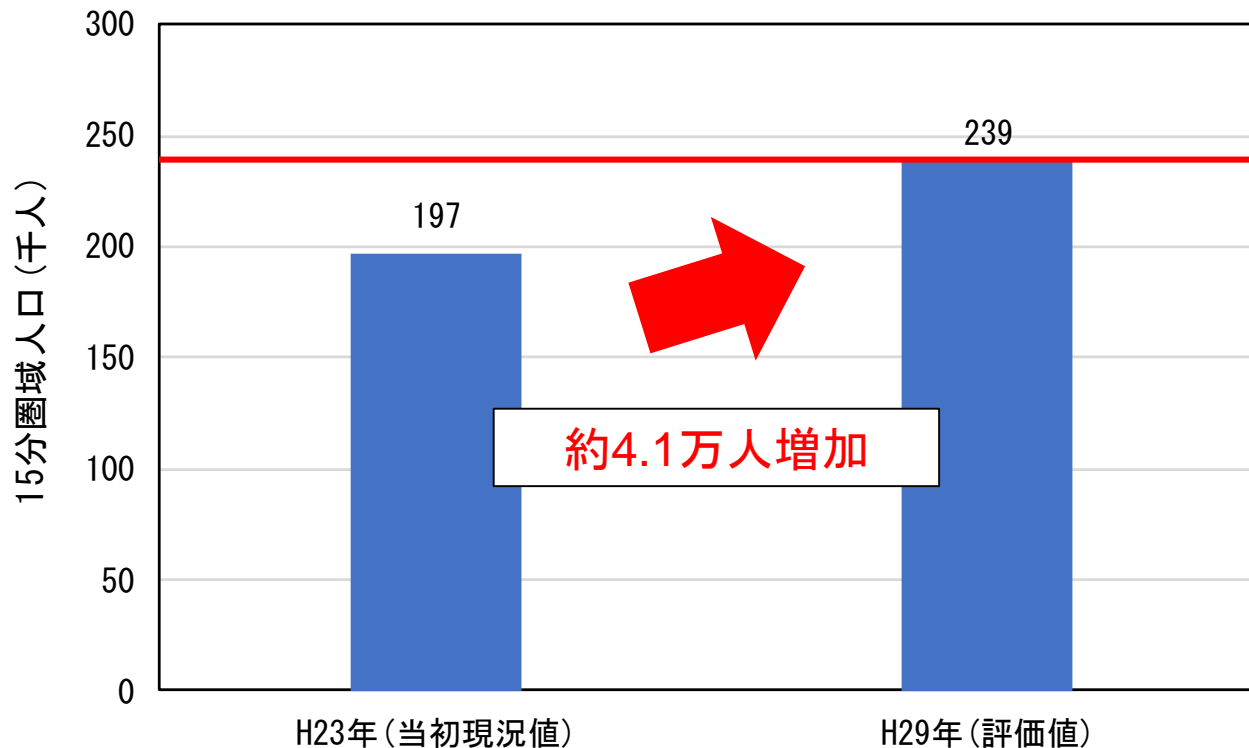
当初現況 (H23)  
197千人



目標値 (H29)  
239千人



評価値 (H29)  
239千人  
(参考: 232千人)※



評価値: 239千人

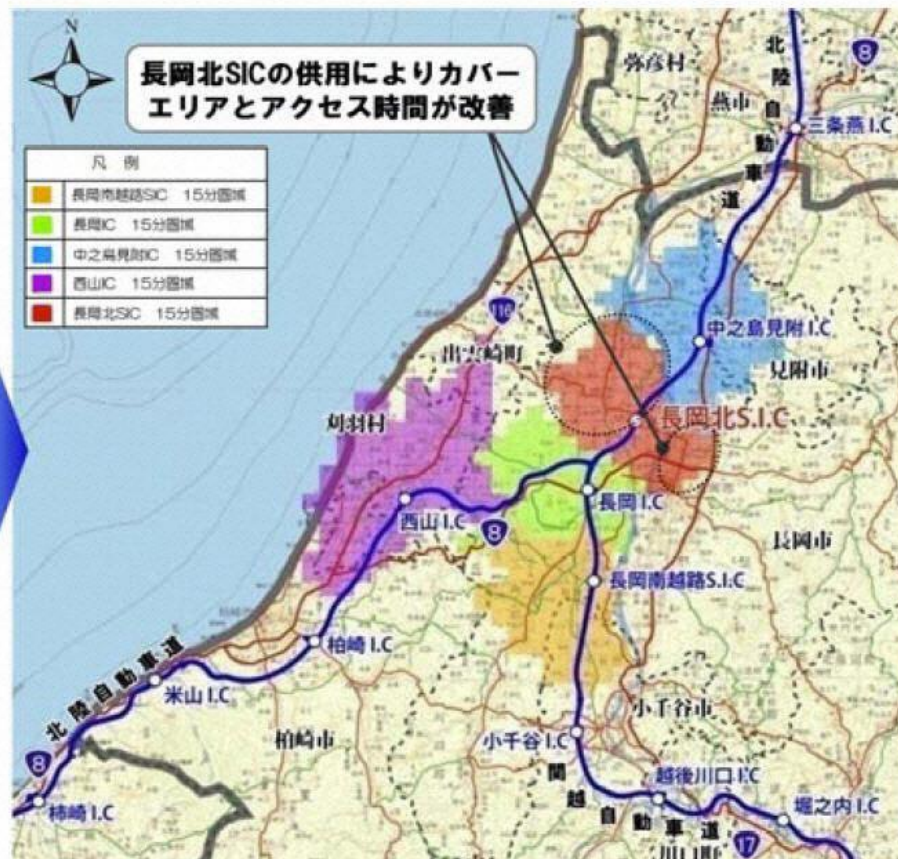
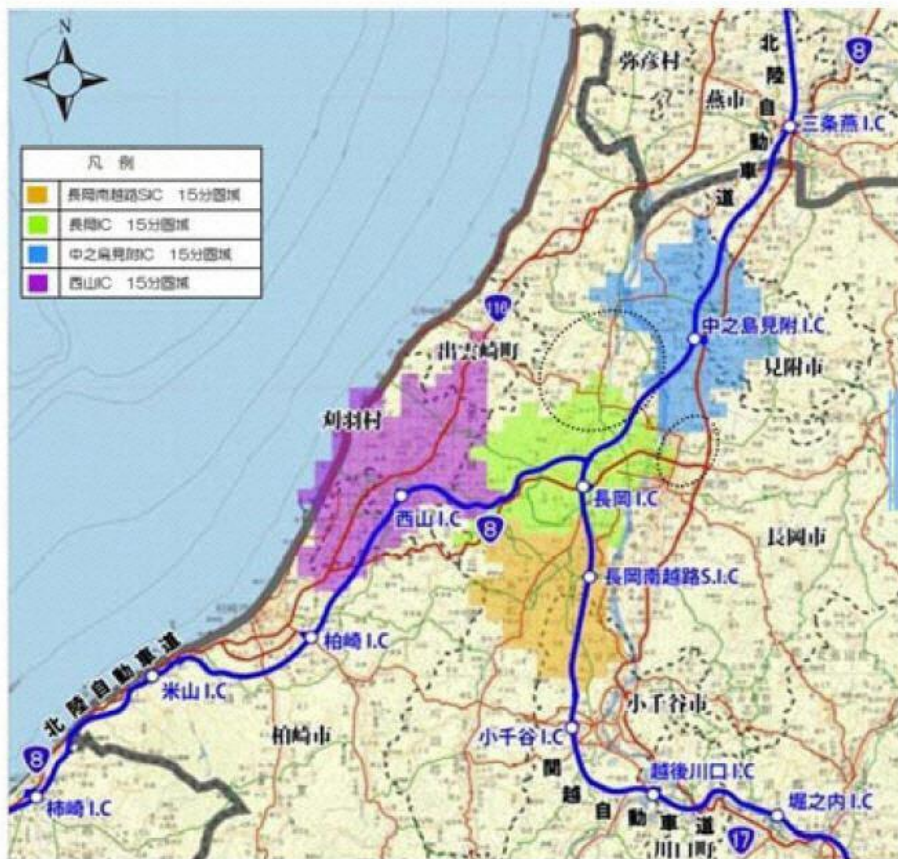
目標値: 239千人

※H27国勢調査の結果を用いた場合

出典) 国勢調査(H17)  
道路交通センサス

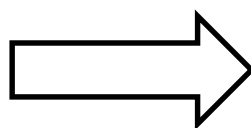
# 本整備計画の概要

## ■指標 1 参考：15分圏域の変化



供用前	15分圏域	30分圏域	単位
人口	197,833	569,278	人
世帯数	66,161	187,124	戸
面積	368.80	1,243.71	km <sup>2</sup>

約4.1万人増

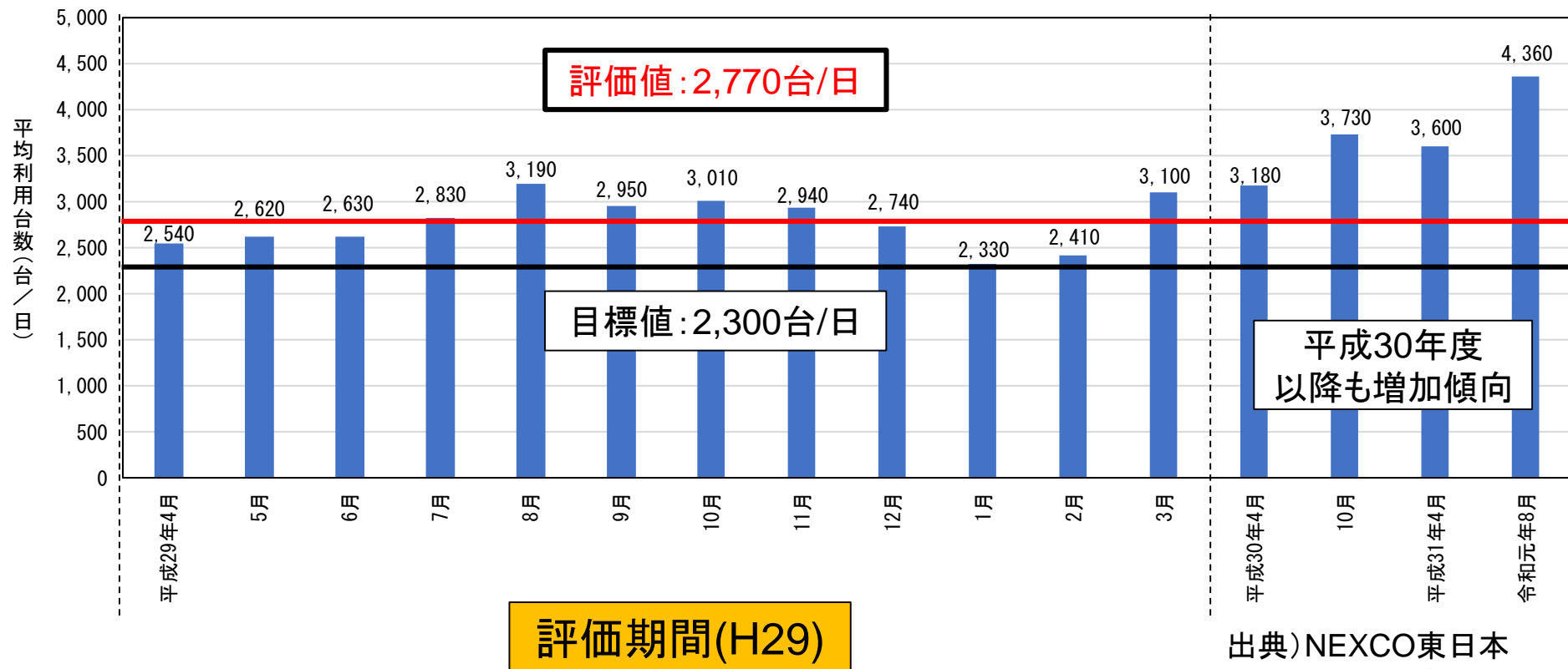
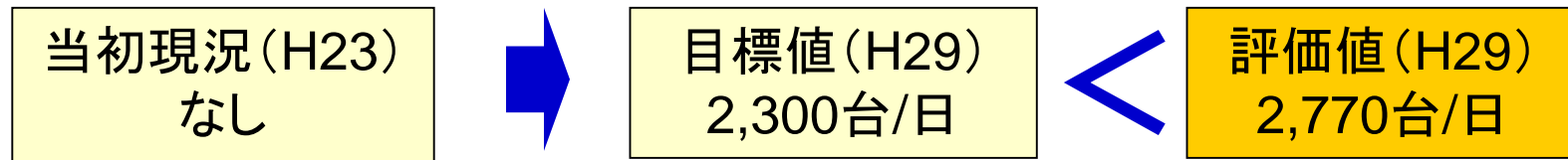


供用後	15分圏域	30分圏域	単位
人口	239,214	569,298	人
世帯数	80,798	187,133	戸
面積	403.60	1,247.80	km <sup>2</sup>

# 成果の達成度

## 指標 2 長岡北スマートICにおける1日当たり平均利用台数

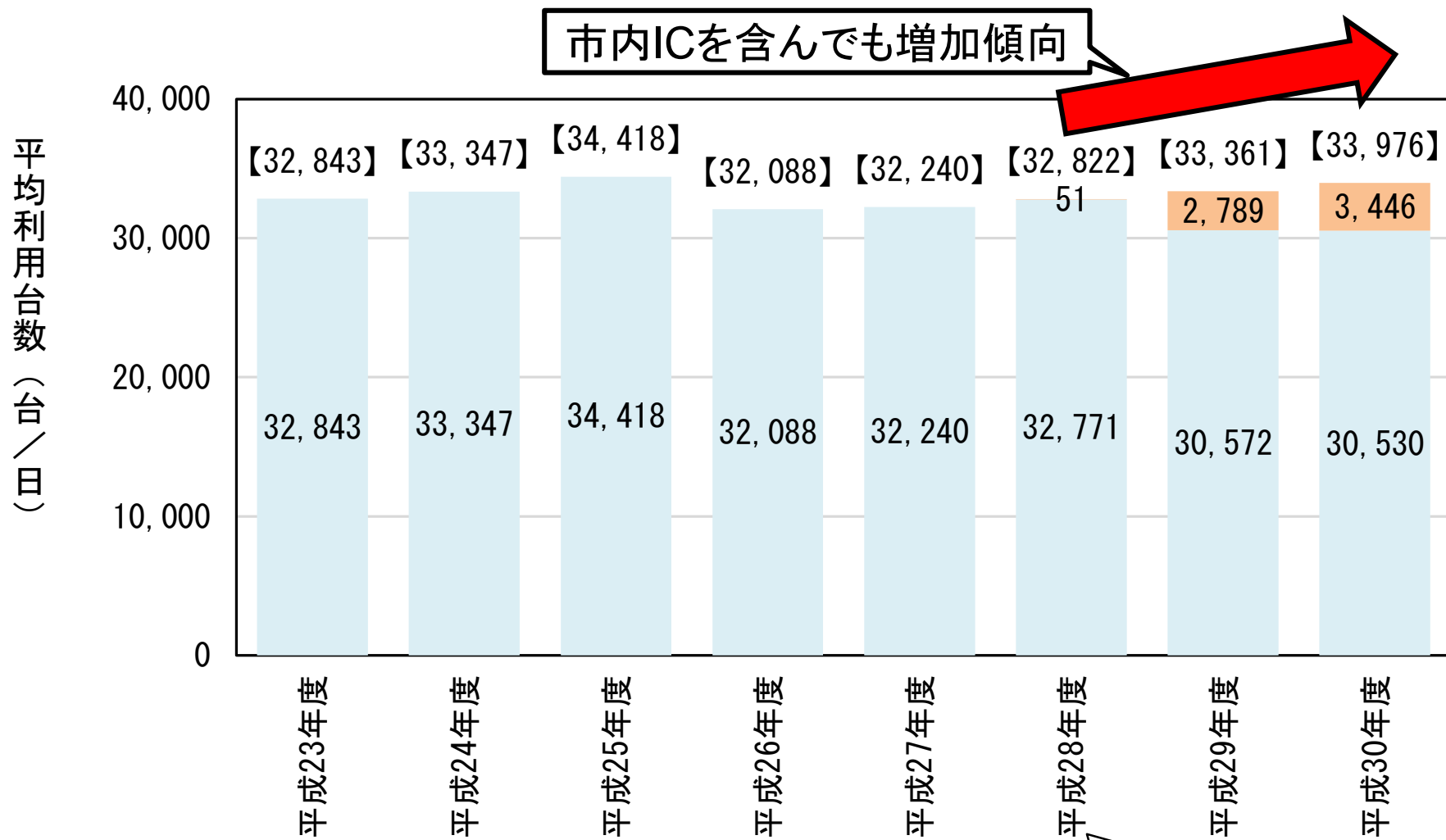
達成度○



出典) NEXCO東日本  
※10台単位

# 成果の達成度

## ■ 指標 2 参考：長岡市内ICの平均利用台数（年度別）



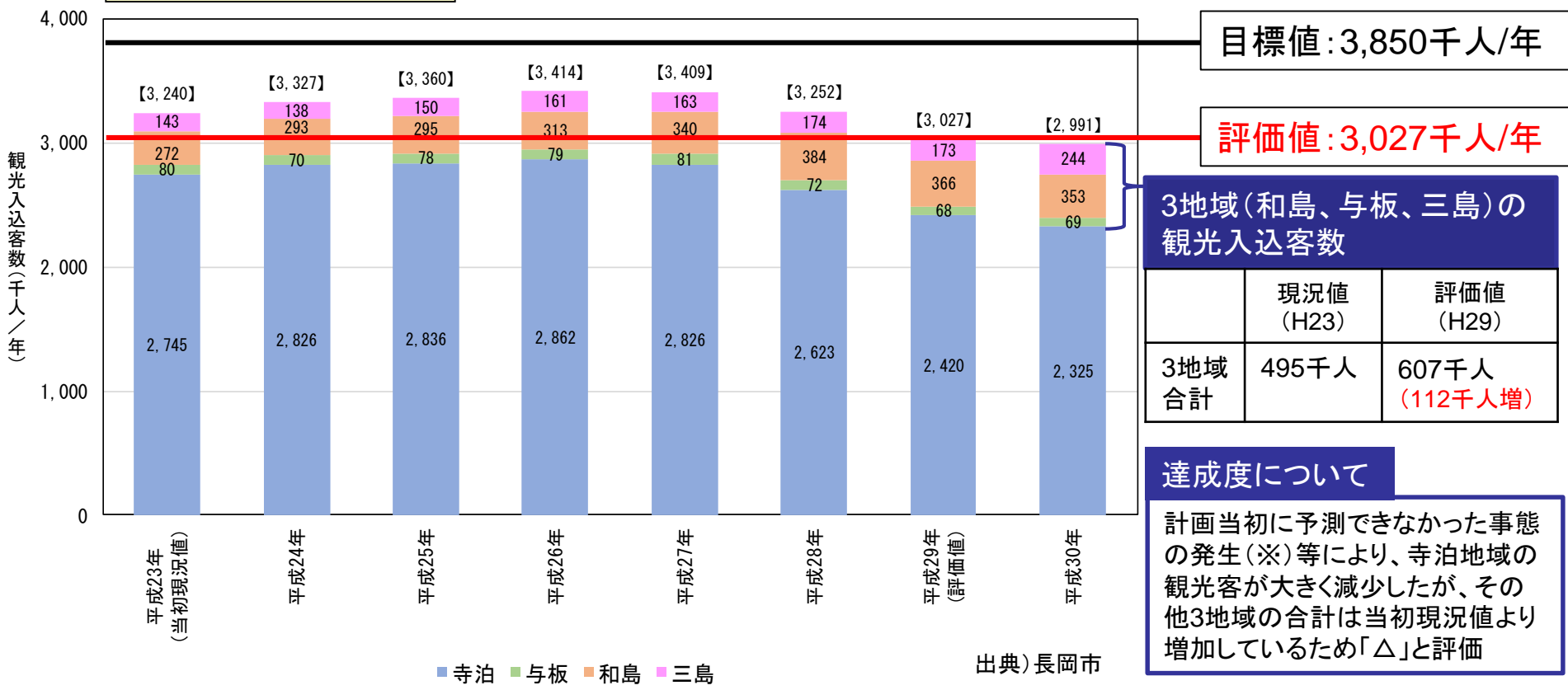
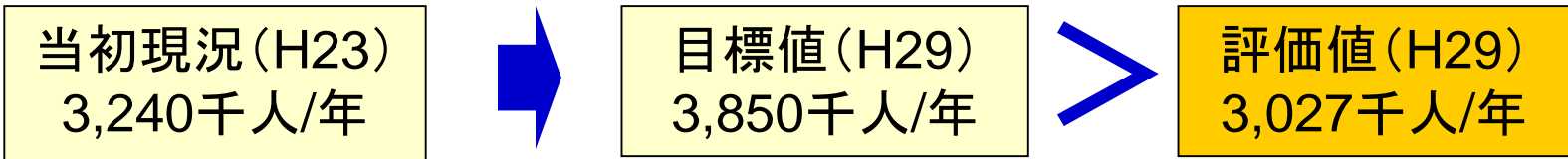
平成29年3月25日開通



# 成果の達成度

## 指標 3 長岡市寺泊、和島、与板、三島地域における年間観光入込客数

達成度△



※H28・H29は、波浪や高波による遊泳禁止や天候不良により海水浴客が減少した。  
 ※H24発生の関越道高速ツアーバス事故を受け、H25.8に貸切バスの規制が強化され、ワンマン運行できる距離や時間に上限が設定された。25

# 成果の達成度

## ■ 指標 3 参考：4地域と長岡市全体の観光入込客数

地域	H23年 (現況値)	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年 (評価値)	H30年	H30H23 変動
寺泊地域	2,745	2,826	2,836	2,862	2,826	2,623	2,420	2,325	-420(-15%)
和島地域	272	293	295	313	340	384	366	353	81(30%)
与板地域	80	70	78	79	81	72	68	69	-11(-14%)
三島地域	143	138	150	161	163	174	173	244	101(71%)
4地域合計	3,240	3,327	3,360	3,414	3,409	3,252	3,027	2,991	-249(-8%)
※参考 長岡市全体	7,659	7,843	7,928	8,180	8,207	7,962	7,672	7,439	-220(-3%)
※参考 新潟県全体	66,671	70,862	71,602	72,987	77,447	74,172	72,478	74,828	8,157(12%)

単位：千人

出典)新潟県観光入込客統計、長岡市

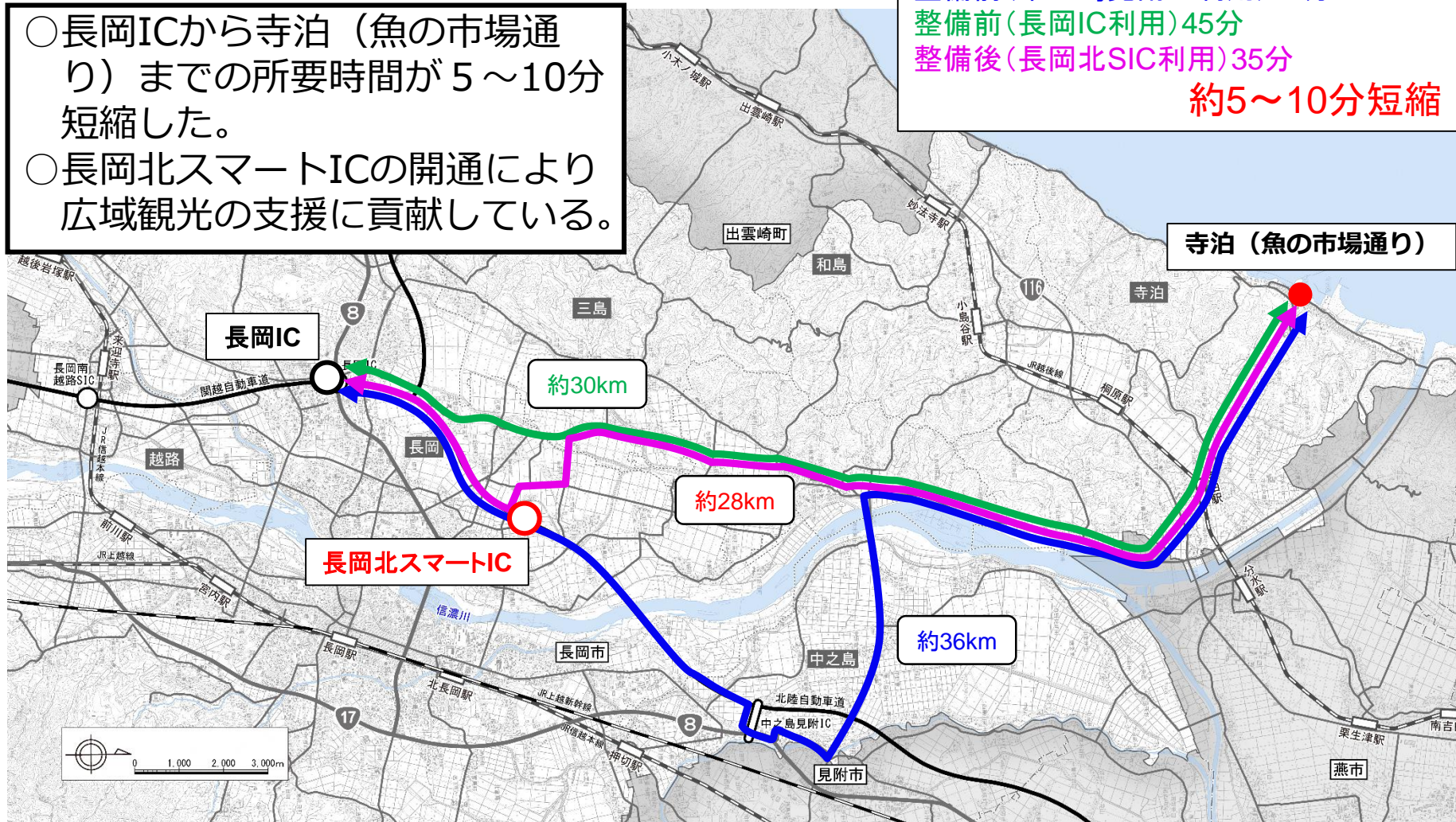
4地域の観光入込客数の80%を占める寺泊地域が減少した影響で全体が減少

# 参考：本事業などによる整備効果

## ■ 広域観光支援効果

- 長岡ICから寺泊（魚の市場通り）までの所要時間が5～10分短縮した。
- 長岡北スマートICの開通により広域観光の支援に貢献している。

長岡IC(関東方面)～寺泊(魚の市場通り)  
整備前(中之島見附IC利用)40分  
整備前(長岡IC利用)45分  
整備後(長岡北SIC利用)35分  
**約5～10分短縮**



# 参考：本事業などによる整備効果

## ■ 産業支援効果

○北部工業地帯から長岡ICへの所要時間が3分短縮した他、新保工業団地から中之島見附ICへの所要時間が21分短縮した。また、長岡北スマート流通産業団地の分譲が進んでおり、産業活動の支援に貢献している。



# 参考：本事業などによる整備効果

## ■長岡北スマート流通産業団地の動き

アクセス性の良さと交通の利便性を評価



- R1.5 第1期エリア（全9区画）分譲先決定
- R1.11 第2期エリア（全11区画）分譲先決定
- ※令和2年度中に第3期エリア予約分譲予定



出典)長岡市

# 事業の効果発現要因の整理

事業	要素事業	指標1 15分圏域人口	指標2 長岡北SIC平均利用台数	指標3 年間観光入込客数
基幹事業	スマートICアクセス整備			
	25-A1 (他)上川西144号線ほか	◎	◎	○
	25-A4 (他)上川西147号線ほか	◎	◎	○
	道路改良			
	25-A2 (他)西幹線82号線	◎	◎	○
	25-A3 (他)西幹線82号線ほか	◎	◎	○
	25-A5 (1)西幹線81号線ほか※	◎	◎	○
	25-A6 (他)越路191号線ほか※	◎	◎	○
効果促進事業	側道整備			
	25-C1 長岡北スマートICアクセス路側道整備事業	○	○	—
	交通円滑化計画策定			
	25-C2 IC関連広域幹線道路計画検討事業	○	○	○

# 今後の社会資本整備の方策

---

# 本計画により達成されたことと、残された課題

事業前の課題	達成されたこと（効果）／残された課題	効果持続方策 改善方策	今後予定している事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆長岡北スマートICのアクセス道路の利便性向上</li> <li>◆周辺道路の交通渋滞の緩和や安全性を確保</li> </ul>	<p><b>【達成されたこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆長岡北スマートICの完成に合わせたICアクセス道路等の整備を計画通りに実施したことで、高速道路の利便性が向上し、高速道路の利用が促進された。</li> <li>◆今後見込まれる交通量に合わせた、道路改良や側道整備等を行い、円滑で安全・安心な道路交通が確保された。</li> <li>◆工業団地と高速ICまでのアクセス性が向上し、産業活動の支援に貢献した。</li> </ul> <p><b>【残された課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「25-A5（1）西幹線81号線ほか」、 「25-A6(他)越路191号線ほか」の2事業は、継続中となっており、今後も交通渋滞の緩和や安全性の確保に向け、計画的、効率的な事業の推進が必要である。</li> <li>◆長岡ICから寺泊までの所要時間が短縮し、観光入込客数の減少傾向の抑制に寄与したが、さらなる観光促進が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆さらなる利便性向上のため、計画的に事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本整備計画で継続中となっている事業の実施</li> <li>◆現在造成している長岡北スマート流通団地内道路や直結するアクセス道路の整備</li> <li>◆寺泊へのアクセス道路整備</li> </ul>



# 今後予定している事業

